

WORKTECH™ Tokyo

WORK / WORKPLACE / TECHNOLOGY / INNOVATION

EXPLORE THE FUTURE OF WORK AND THE WORKPLACE

オンラインフォーラム

2026年2月2日(月) 9:00 ~ 2月9日(月) 09:00

*7日間限定配信

WORKTECH TOKYO オンラインフォーラムは、仕事とワークプレイスの未来・不動産・テクノロジー及びイノベーションに関わる方々の為のバーチャルカンファレンスです。

EVENT SPONSORS

HOST PARTNER



PLATINUM SPONSOR

KOKUYO

GOLD PLUS SPONSOR



SILVER SPONSOR



BRONZE SPONSOR

KALMOR®

KNOWLEDGE PARTNER



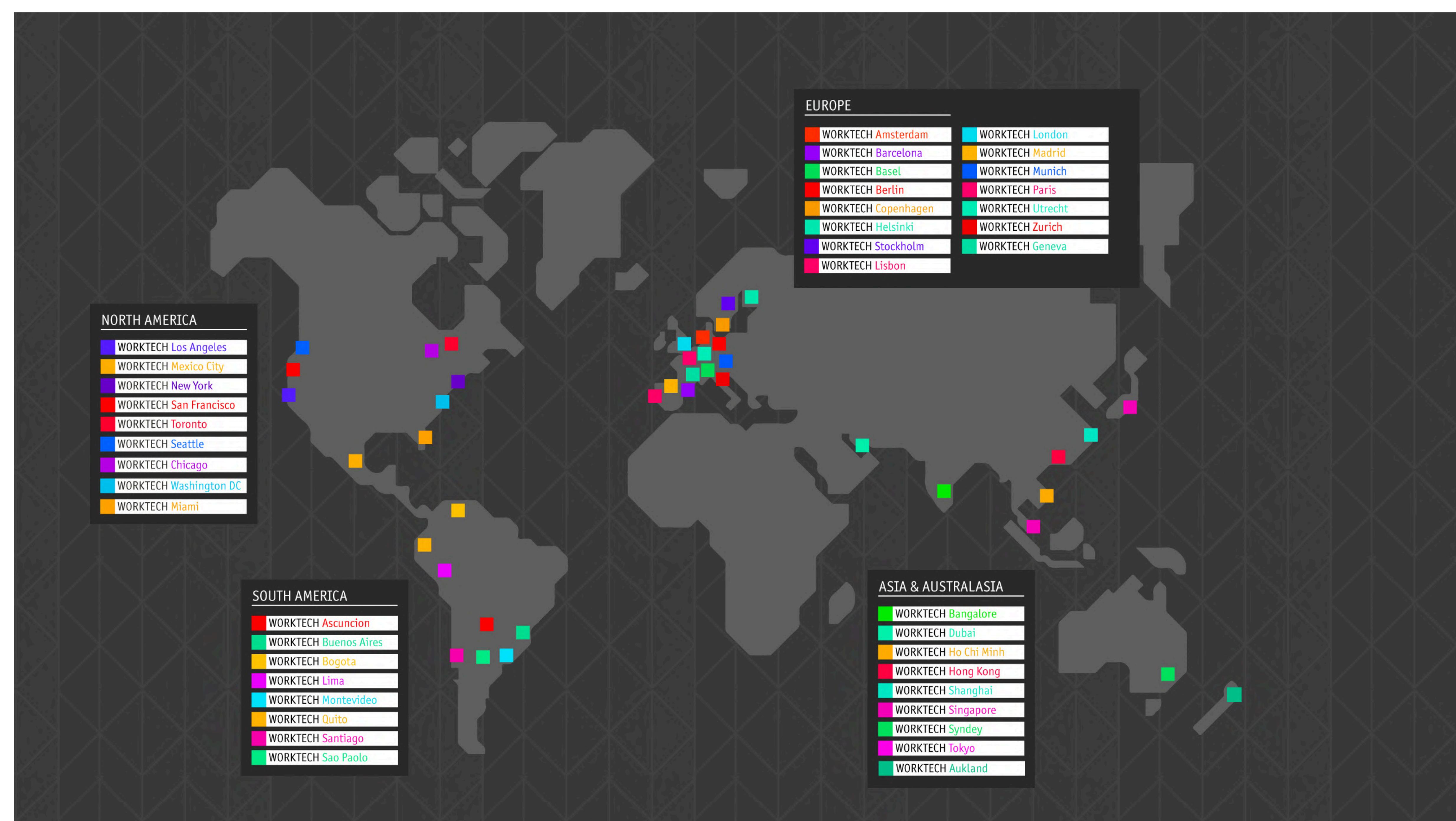
SUPPORTED BY

JFMA



WORKTECHについて

WORKTECHは、仕事とワークプレイスの未来について、認識を深め、変化を促し、スペシャリスト達のインサイトを提供することを目的とした総合的なリサーチ・プラットフォームです。当フォーラムは、2003年にフィリップ・ロス氏とジェレミー・マイヤーソン氏によって立ち上げられた初の業界特化型カンファレンスを母体としており、現在ではワークプレイス・インテリジェンスに関する世界有数のカンファレンスおよびリーダーシップシリーズとなっています。



[過去のWorktechイベント開催地については、こちらをご覧ください](#)

WORKTECHは現在、仕事とワークプレイスの未来に携わるプロフェッショナルのための主要な国際フォーラムであり、学際的な講演、双方向のディスカッション、創造性を高めイノベイティブ思考の限界を押し広げるラーニング・エクスペリエンスを通じて、ワークプレイス コミュニティに新しいアイデアとインスピレーションをもたらしています。



企業のシニア エグゼクティブの意思決定者とのネットワーク



ワークプレイスの最新トレンドを知る機会



世界の思想的リーダーから話を聞く絶好の場



ベストプラクティスとイノベーションから受け取るインスピレーション

セッション概要



Aurelio David (アウレリオ・ディビット)
Workplace Research and Experimentation, シニアマネージャー
LinkedIn



LinkedIn Experimentation 実証プログラムを統括し、リサーチの成果をパイロットプロジェクトや実験へ展開を行うチームを主導。複数の社内ワークプレイスグループと連携し、オフィス家具、空間タイプ、テクノロジーを含む革新的なワークプレイスに関するプロダクトのテストを実施。定量・定性的リサーチ手法と実験デザインを組み合わせることで、新しいプロダクトが従業員体験の向上、ワークプレイス設計の改善、大規模導入に適しているか評価を行う。LinkedIn入社以前には、複数の組織においてリサーチ・戦略・デザイン交差の分析に携わり、Gensler社ではデザインストラテジストとして、数多くのFortune 500企業に対しポートフォリオ最適化・空間分析・従業員エンゲージメントに関する向上策など多様なワークプレイス戦略イニシアチブに関するコンサルティングを提供。

AI主導のワークプレイスデザインとは：チームダイナミクスとコラボレーションの未来を AIがどう形成するのか

AIが仕事の本質を変革する中、LinkedInのWorkplaceチームでは物理的空間が新たなコラボレーション形態をどのようにサポートするかを再考し、柔軟なワークプレイス戦略を推進。本セッションでは、40人のリーダーへのインタビューを含む最近の研究成果の知見と、小規模で自律的なクロスファンクショナルチーム"pods"向けに専用のAI搭載環境をテストするために設計された11週間の実験から得られた知見を紹介。LinkedIn本社での"Pod Work Area"パイロット版では、2つのpods (9名と13名で構成されたPodチーム) を、昇降式デスク、コラボレーションスペース、そしてエージェント技術を備えたアジャイルプロジェクトルームを備えた専用ゾーンに割当。アンケート、インタビュー、観察、シミュレーションを用いて、近接性、空間設計、そしてAIが、意思決定と実行のギャップを埋め、パフォーマンスと心理的安全性を促進する方法を探る。当セッションでは世界35拠点以上のオフィスで 25,000 人以上の従業員を擁する LinkedIn が、コラボレーションがより迅速且つスマートに、人間的な未来に向けてどのように準備を進めているかについて考察します。



Orsolya Kovacs (オルショヤ・コヴァーチ)
People Strategy & HR, パートナー・アソシエイトディレクター
Boston Consulting Group



BCGにおける人事動向、スキルアップ戦略、人材選考に関する第一人者の一人であり、世界の主要企業が将来に向けて人材育成を構築する取り組みを支援。また、グローバルでの人材動向に関する研究をリードし、数多くの出版物を執筆。その中には、2023年ハーバード・ビジネス・レビュー (HBR) 賞を受賞した記事「Reskilling in the Age of AI (AI時代のリスキリング)」も含まれる。その研究成果は HBR、ウォール・ストリート・ジャーナル、フィナンシャル・タイムズなど多くのメディアで紹介されており、人事サミットやCHRO (最高人事責任者) ラウンドテーブルでも頻繁に登壇。

予測不能な未来に向けた人材戦略とは

テクノロジーが仕事やスキルに影響を与えることは必ずしも目新しいことではありませんが、そのスピードは前例のないほど加速しています。将来必要となるスキルは、労働市場で入手できなくなる一方、先進国では高齢化により人材が枯渇しつつあり、新世代はワークプレイスに異なる期待を抱いています。こうした状況が重なり人材とスキルは益々希少化しています。しかし、殆どの企業は、数年後にどのようなスキルや仕事が必要になるか予測できない世界の中で人材管理の理念やプロセスの適応を模索しています。当セッションでは、企業が人材を調達、育成、管理する方法に必要なパラダイムシフト、そしてこの変化を推進するために人事部門がどのように進化する必要があるかについて深く掘り下げます。データに基づき、BCGによる最新の人材選好に関する調査（全世界15万人の労働者を対象とした「2024年版 グローバル人材の分析」調査）を活用。主要40社のスキルと人材管理に関するケーススタディを紹介し、1,000社以上の企業を対象とした再スキル化・スキルアップに関するベストプラクティス調査結果を分析します。



Robert Greenwood (ロバート・グリーンウッド)
Partner, Director Asia Pacific
Snøhetta



英国で教育を受け、1993年にSnøhettaに入社。エジプトのアレクサンドリア図書館の設計と建設において中心的な役割を果たす。2006年にパートナー兼ディレクターに就任、国際プロジェクトを統括。2017年よりアジア太平洋地域の設計業務を担当。2018年にはSnøhetta香港スタジオを設立。主なプロジェクトには、アレクサンドリア図書館、ニューヨークの9.11記念館パビリオン、上海グランドオペラハウス、上海南京東路拡張プロジェクト、北京図書館、香港のAIRSIDE、ダーランのキングアブドウラジズ世界文化センター、リヤドのカスル・アル・ホクム駅、ペイントーのフランス・レバノン銀行本社、釜山オペラハウス、東京・渋谷アップルエストプロジェクト等がある。設計活動と並行し、建築教育と研究に深く取り組む。オスロ建築デザイン大学、ベルゲン建築大学、マドリードのIE大学、上海の同濟大学、ボローニャのYACademy、2023年ソウル建築都市ビエンナーレなど、世界中の数多くの教育機関やデザインフェスティバルで講演を行う。

繋がる為のデザインとは：プレイスメイキングと都市における働き方の未来

パートナー兼アジア太平洋地域のデザインディレクターであるグリーンウッド氏が、建築とデザインが仕事と都市生活の未来をどのように形作ることができるかについて語ります。渋谷アップルエスト・プロジェクトを例に、プレイスメイキングが文化、コミュニティ、そして商業を繋ぎ、創造性、コラボレーション、そしてウェルビーイングを刺激する環境を創造する方法を解説。都市が進化する中で、思慮深いデザインがオフィスや地域、人々を結びつけ、共通の目的意識を反映する活気ある空間へどのように変革できるかを探ります。



Wilco Poppelier (ウィルコ・ポペリエ)
Global Head of Workplace Strategy
Miro



10年以上にわたり、様々な業種やクライアントに対しワークプレイスおよび変革コンサルティング業務に携わり、ユーザー主導のワークプレイスプロセスとクリエイティブを確立。ユーザーの成功を支援することを目標としている。2022年より、視覚的なプロジェクト、ブレインストーミング、デザインに活用されるオンライン共同ホワイトボードプラットフォーム「Miro」において、グローバルワークプレイス戦略・プロジェクトのグローバルリードを務める。以前はDrees & Sommer社にてワークプレイス&変革コンサルタントとして従事。



Daaf Serné (ダフ・サーン)
Head of Workplace & Sustainability
Miro



ワークプレイスにおける健康とウェルビーイングを促進する持続可能な環境づくりに情熱を注ぐ、経験豊富なワークプレイス専門家。現在Miroのワークプレイス&サステナビリティ部門責任者として、革新的なワークプレイスソリューションとサステナビリティニアチャブの推進に大きく貢献。戦略的思考と広範な影響力を持つリーダーシップのバックグラウンドを持ち、複雑なプロジェクトの成功管理と協働環境の構築において数多くの実績を有し、注目すべきプロジェクトにおいて専門性を発揮。特にMiroの「Learning Lab」戦略の立ち上げや、アムステルダムにおける「Miro100」プロジェクトを主導。当プロジェクトでは、Miroプラットフォームの革新的な活用を通じ、社内外のエンゲージメント向上にフォーカス。戦略的ビジョンと実践的な実行力を融合、ワークプレイス戦略とサステナビリティ分野で高い評価を受ける講演者かつ思想的リーダー。

MIROのユーザー主導型ワークプレイスとは

Miro (ミロ) のアムステルダム本社は、コスト効率の高いデザインと社員にとって意味のある環境の両方を実現しています。このオフィスは、地球環境に優しく、誰もが働きやすく、常に進化していく場所です。皆が協力し、新しいアイデアを生み出せるようデザインされており、これはMiroの目指す姿や製品の考え方そのものを表しています。社内で「ラーニング・ラボ」と呼ばれているこの場所は、社員からの意見で形作られる、生きた、変化し続ける環境として、オフィスのあり方を変えています。デザインの際、スタッフはアンケートや話し合い、ワークショップなどを通じて意見を出し合い、「たぶんこうだろう」という思い込みではなく、「本当に必要とされていること」を満たすようにしました。その結果、変化に対応でき、仕事の成功を助け、社員の創造性や学び続ける姿勢を育む職場ができました。この「ラーニング・ラボ」のやり方を4年以上続けたデータに基づき、Miroはこれからのオフィスがどうあるべきかというビジョンを作り上げています。



田中康寛
コクヨ株式会社
ヨコク研究所・ワークスタイル研究所 リサーチャー



コクヨにてオフィス家具の商品企画・マーケティングを担当した後、「働き方」や「未来社会」に関するリサーチや企業を対象としたコンサルティング活動に従事。人間工学、ユーザーエクスペリエンス、データサイエンス、産業・組織心理学などの専門性を活用し、グローバルな視点で働き方・働く場・働く人に関する研究・発信に携わる。

"IKIGAI"から"WEKIGAI"へ—文化比較から紐解く日本の働く幸せ—

日本社会における「働く幸せ」とは何でしょうか。本セッションでは、文化比較の視点からアジアで大切にされる幸福感を紐解き、「協調性」と「自立性」がバランスよく両立することで、イノベーションと個人の幸福が共に実現する職場環境を考察します。さらに、先駆的な企業事例をもとに、ウェルビーイングなワークプレイスのあり方を探求していきます。



石崎 真弓
ザイマックス不動産総合研究所
主任研究員



働き方やワークプレイスをテーマに、オフィスマーケット、オフィス需要動向、ハイブリッドワーク、エンゲージメント、フレキシブルオフィスなどに関する調査・研究を行う。社会や企業の変化に応じた働き方やオフィスの在り方を探り、不動産市場や企業経営に役立つ知見を発信。また、日本ファシリティマネジメント協会、オフィス学会、テレワーク協会など、関連分野の学会・研究団体にも参画し、学術的・実務的な両面から研究活動を行う。

エキスパートによるディスカッション：グローバルな洞察・ローカルな未来とは： 日本における働き方と場の再定義

LinkedIn、BCG、Snøhettaの国際的なリーダーが一堂に会しワークプレイス戦略・人材・デザインにおけるグローバルトレンドが日本市場にどう影響するかを考察。当セッションでは、AIを活用した協働、スキル変革、人間中心の場所づくりといった概念が、日本の文化的価値観、組織構造、進化する働き方にどう交差するかを検証します。現代の日本において、真に効果的で意義あるワークプレイスの要素とは何か、そしてグローバルな知見をどう適応させれば、人と企業の双方にとってイノベーション、ウェルビーイング、長期的な価値を両立させる環境を創出できるかについて議論します。



岸 健二
株式会社文祥堂 事業推進部 事業開発担当



株式会社文祥堂 事業推進部で事業開発を担当。2019年に文祥堂へ入社後、マーケティングを経て、企業・自治体・地域コミュニティをつなぐ共創プロジェクトを推進している。小田原市根府川にある「Workcation House U」のプロジェクトリーダーとして、旧公共施設の再生を通じて新たな“4th Place”を創出し、同施設は第3回JOIFAオフィスアワード最優秀賞を受賞。現在は地域共創プロジェクトに取り組むとともに、イベントなどを通じて働く環境づくりに関する発信も続けている。

オフィスの外に広がる働く場の再定義：公共施設再生から見えた“フォースプレイス”的可能性

本セッションでは、神奈川県小田原市根府川にある旧役所が、地域と働く人々をゆるやかにつなぐ新しい場として再生され、結果として“4th Place”とも呼べる価値を生み出した事例を紹介します。

利用者の行動やコミュニティの変化など、現場で起きていることを中心にお話しします。

また、このような公共施設の再活用が、企業の働き方やワークプレイス戦略にどのような示唆を与えるのかについても触れます。





当イベントのスポンサー支援に興味のある企業の方々
業界を牽引するWORKTECHカンファレンスでは、企業のワークプレイスに関わるシニアプロフェッショナルの方の為に”必見の”イベントです。
WORKTECHは、意思決定者の方々とのビジネス関係を構築し、当イベントと連携することにより、更なる信頼関係を強化するための手段をご提供します。

PLEASE CONTACT当イベントでの登壇に関する問い合わせにつきましては、イザベル・マークスまでご連絡ください。

Isabel Dewhurst-Marks イザベル・マークス, Managing Director,
WORKTECH Events, UNWIRED Ventures Ltd

WORKTECH™

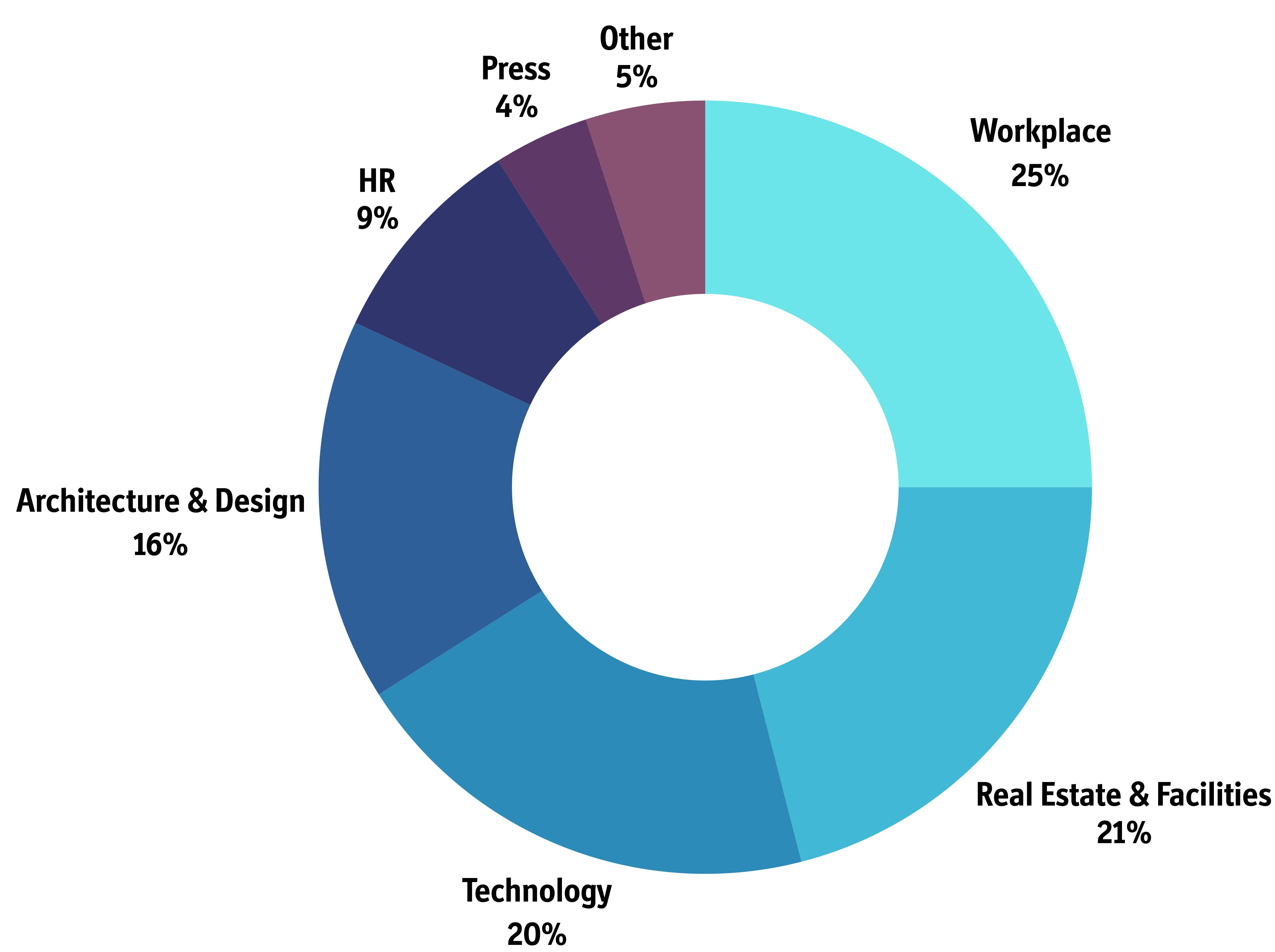
次回2026年12月WORKTECH東京カンファレンスに
是非ご参加ください

2026年12月に開催予定の対面でのカンファレンスに
是非ご参加ください。不動産・ファシリティ・
HR・テクノロジー・エグゼクティブマネジメン
ト・建築・デザインの各分野のシニアプロフェッ
ショナルの方々と、最新の未来のワークトレンド
やトピックに関する学び、ネットワーク構築、デ
ィスカッションを行います。過去の参加企業は、
ブリヂストン、富士通、Bosch、ソフトバンクロボ
ティクス、トヨタ自動車、ソニー、日本郵便、
NTT、日立製作所、三菱電機、NEC、Mizuho、その
他多くの企業の意思決定者が参加しました。

関心のある方は、こちらのサイトより
ご登録ください



参加者 職種分布



非常に有益で、目からウロコの情報、
価値のあるカンファレンス

LEGO レゴ 参加者の声

“

有益で、インサイトに富み、よく計画され、
スピーカー陣も豊富。毎度新しい発見と出会えます！

”



UNILEVER ユニリーバ 参加者の声

